

令和6年度指定管理業務  
指定管理者第三者評価委員会評価結果

岡崎市市民会館・岡崎市甲山閣・岡崎市せきれいホール

	I 適正性 評価	II 有効性 評価	III 効率・安定性 評価	総合評価
担当課当初評価	適	良	適	A
担当課当初評価に対する第三者評価結果	妥当	甘い	妥当	甘い
担当課最終結果	適	良	適	A

< 第三者評価意見概要 >

担当課の評価は、甘いと判断する。

適正性の評価に関して、施設の保守点検、管理運営が適切に実施されていることがうかがえ、一定の評価ができる。

有効性の評価に関しては、アンケート等を実施し、施設利用に対する利用者の満足度が非常に高いことは評価できる。一方で、コンテンツに対する満足度の把握や、担当課へのフィードバックが不明瞭であり、有効性を評価するには不十分であると思われる。また、施設目標で掲げる数値の根拠が不透明であり、目標設定に甘さが見られることから、施設状況を踏まえた目標設定については一考の余地がある。

効率性・安定性評価については、一部施設で利用料の増加に努めていることがわかるが、総じて利用料収入が低下しており、これに対する具体的な改善策を検討されたい。

なお、市民会館等において、市と連携した岡崎オリジナル脚本による「岡崎歌舞伎公演」を成功させ、市民が芸術文化に触れる機会の創出に寄与していることがうかがえる。今後も、より一層の施設の活用を期待したい。

行政としては、文化施設の運営に対するビジョンを明確にし、また、指定管理者と十分なコミュニケーションをとることで施設運営に対する認識を深め、相互に作用する関係を構築されたい。

## <担当課最終結果の説明>

※ 担当課が当初の評価から変更しない場合にその理由を記載

有効性の評価に関しては、コンテンツに対する満足度の把握や、担当課へのフィードバックにつきましては、年間の業務報告書には添付されていませんが、各提案事業の参加者アンケート結果を月次の業務報告書にて確認し、モニタリングなどの機会に指定管理者と意見交換をしています。各コンテンツの満足度は、大変良い及び良いが70～100%で、90%前後の満足度が多くなっています。また、担当者を始め課の職員が提案事業の催事に実際に足を運び、事業の実施状況と来場者の反応を実見し、ここでもお互い意見交換を行っています。

施設目標で掲げる数値の根拠が不透明であり、目標設定に甘さが見られるという指摘につきましては、昨年度の第三者評価でも目標設定に改善の余地があると指摘を受けていますが、令和6年度の目標値は年度開始前に設定するため、委員会からいただいた意見は反映されていない数値となっています。仮に、前年度実績を反映した目標値とした場合にも、目標達成度は「適」となり、評価に変更はありません。令和7年度の目標値については、施設状況と外的要因を踏まえた設定を行っています。

なお、有効性評価の7項目のうち4項目において「良」、その他は「適」と判定しており、総括基準に照らし合わせると4項目以上で「良」がある場合は「良」と判定されることから、担当課当初評価に変わりありません。

効率性・安定性評価については、利用率の増加が利用料収入の増加に繋がる方策も、指定管理者と研究してまいります。

以上より、総合評価を「A」とすることは妥当であると判断しました。